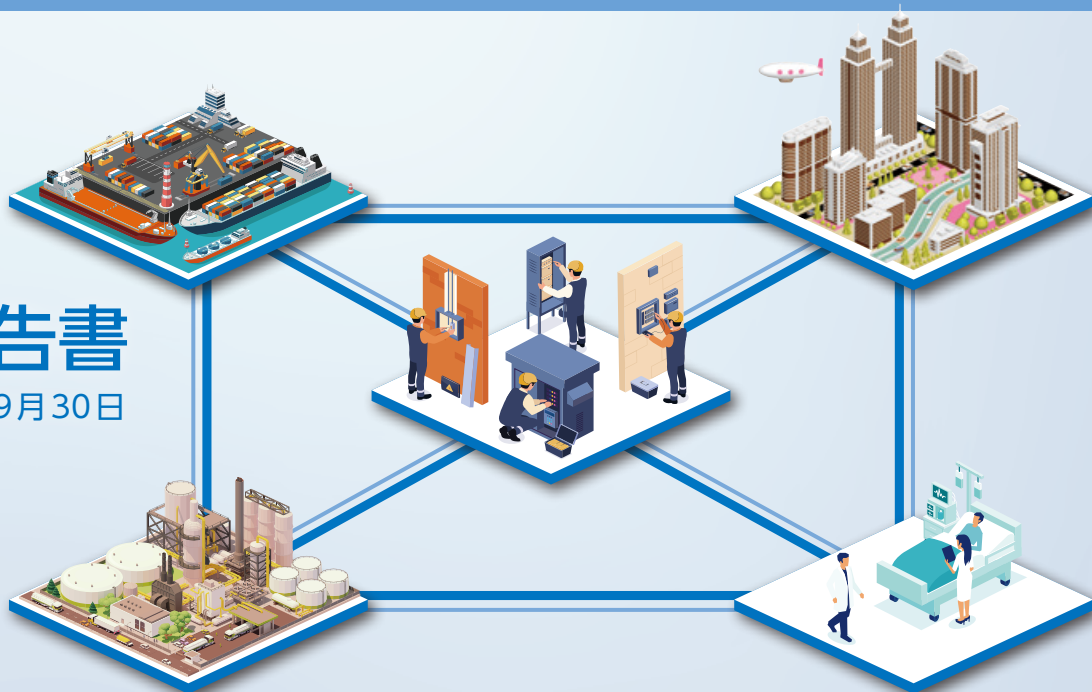


第43期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.

証券コード：6637

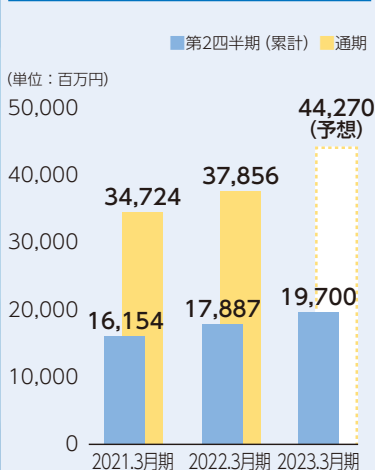


2023年3月期 第2四半期（累計）連結業績ハイライト

売上高

19,700百万円

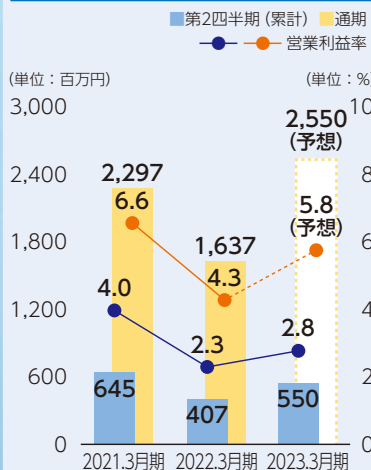
前年同期比 **10.1% 増**



営業利益 / 営業利益率

550百万円

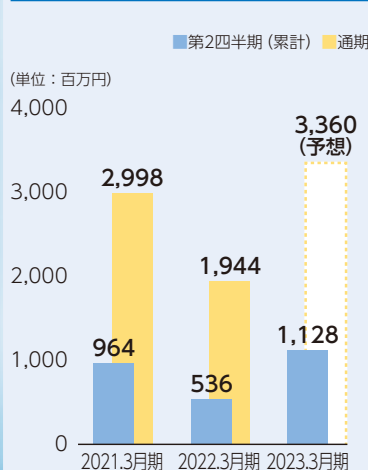
前年同期比 **35.2% 増**



経常利益

1,128百万円

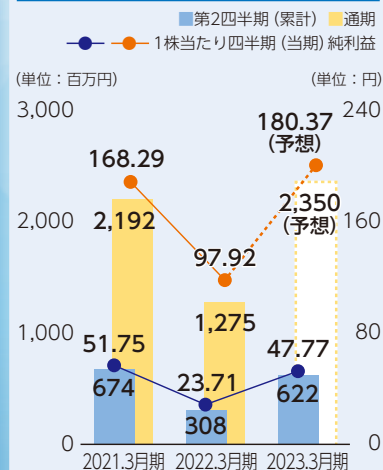
前年同期比 **110.3% 増**



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 /
1株当たり四半期(当期)純利益

622百万円

前年同期比 **101.5% 増**



2023年3月期 業績予想

売上高

44,270百万円

前年同期比 **16.9% 増**

営業利益

2,550百万円

前年同期比 **55.7% 増**

経常利益

3,360百万円

前年同期比 **72.8% 増**

親会社株主に帰属
する当期純利益

2,350百万円

前年同期比 **84.2% 増**

配当金

中間 8円
期末 10円(予想)
年間 18円(予想)

詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。

<https://www.terasaki.co.jp/investor/>



株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社を取り巻く経済環境は、国内及び一部の地域を除く海外において、設備投資が堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界においては、コンテナ船やLNG船等を中心に新造船の受注量が昨年に比べ減速感はあるものの、高水準で推移しました。また、港湾環境保全の推進や脱炭素社会への移行を追い風とした陸電供給システムの引き合いが好調に推移しております。一方、半導体や樹脂製品を中心とした部品の供給制約や、銅をはじめとする原材料価格、物流コスト及びエネルギー価格の高騰による影響が引き続き懸念されます。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、産業用システム製品が減少したものの、機器製品の国内及びマレーシア向け、並びに船舶用システム製品のコンテナ船及び陸電供給システム等が増加しました。その結果、前年同期と比べ売上高は増加し、営業利益は増益となりました。加えて円安による為替差益等を計上したこともあり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても増益となりました。

今後も、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響や地政学的リスク、並びに原材料価格及び物流コストの動向や供給制約の状況など、先行き不透明な状況は続くと思込まれます。このような状況下においても安定した製品提供を



代表取締役 社長執行役員
寺崎 泰造

実現できるよう、引き続き臨機応変な事業運営に努めてまいります。

来年の創業100周年、更にその先の未来に向けて、今年度より主力生産拠点の増強を開始しております。「TEAM TERASAKI」のネットワークを活かした柔軟なものづくりができるよう、生産体制を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

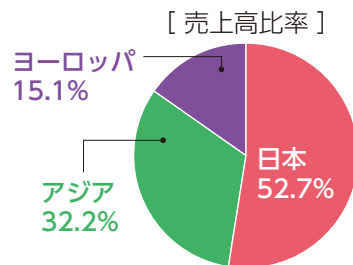
2022年12月

所在地別セグメントの概況

日本

売上高 ▶ 10,375百万円 (前年同期比 2.2%増) ▶ セグメント利益 ▶ 551百万円 (前年同期比 2.6%減)

- ▶ **船舶用システム製品** コンテナ船及び陸電供給システム等の増加により、大幅に増加。
- ▶ **産業用システム製品** 国内及び海外プラント向けが減少。
- ▶ **メディカルデバイス** 医療機器の新規設備投資に回復の兆しがみられるも、海外における臨床検査機器の新規設備投資が低調に推移したことにより、減少。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス** 船舶向け換装工事等が増加したものの、国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件がなかったことにより、減少。
- ▶ **機器製品** 海外向けにおいて欧州、オセアニア及び西アジア向けが低調に推移したものの、国内向けは設備投資及び船用市場向けが増加したことから、増加。



アジア

売上高 ▶ 6,350百万円 (前年同期比 24.8%増) ▶ セグメント利益 ▶ 305百万円 (前年同期比 154.6%増)

- ▶ **船舶用システム製品** 前年同期と比べ増加。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス** 環境規制関連工事が堅調に推移。また船舶向け点検作業が増加。
- ▶ **機器製品** マレーシア国内向けが堅調に推移したことから、大幅に増加。

ヨーロッパ

売上高 ▶ 2,974百万円 (前年同期比 12.6%増) ▶ セグメント利益 ▶ 148百万円 (前年同期比 38.7%増)

- ▶ **機器製品** 大型プロジェクト案件が完遂したことにより中近東向けが減少したものの、欧州及び英国内向けが堅調に推移したことから、増加。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス** ブレーカの更新工事が増加。

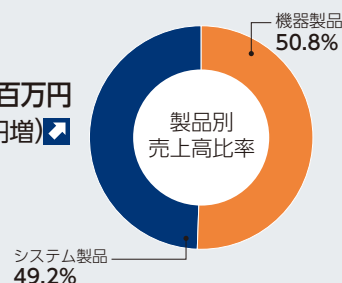
製品別 システム製品 (配電制御システム等)

売上高 9,692百万円 (前年同期比 0.5%増) ▶ 受注高 18,746百万円 (前年同期比 40.0%増) ▶ 受注残高 32,167百万円 (前連結会計年度末比 9,053百万円増) ▶

機器製品 (低圧遮断器等)

売上高 10,007百万円 (前年同期比 21.4%増) ▶

(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。



テラサキグループ主力生産拠点の増強に向けて

当社は、今年度より2つの主力生産拠点の増強に向けて動き出しています。

◆ 加美工場(大阪市平野区)

当工場は1941年の操業開始以来、機器事業の主力工場として機器製品を製造しております。

これからも日本での製造を継続して行くという強い意志のもと、BCP(事業継続計画)の強化、生産性と品質の更なる向上を目的として、建屋を含む製造設備の大規模な更新を行うこととなりました。大幅な生産能力の向上や自動化を進める製造設備の導入を行う予定です。

現状の生産活動を停滞させることなく、限られた敷地の中での更新となりますので、影響度の低い旧建屋の解体を段階的に進めながら、解体後の空きスペースに新棟建築を行う、スクラップ・アンド・ビルド方式を採用しております。まずは第一期工事として、工場の一部と事務所棟の建替えを実施いたします。

着工時期：2023年9月(予定)

竣工時期：2024年11月(予定)

◆ テラサキ伊万里株式会社(佐賀県伊万里市)

同社は2001年の創業以来、当社の主力生産子会社として、システム製品の製造を行っております。

かねてより掲げておりました「設計から製品までの一貫生産の確立」に基づき、2016年に竣工した新工場に引き続き、板金・塗装棟を同社敷地内に新たに増築することとなりました。板金及び塗装用設備の新規導入により、更なる生産性と品質向上、そしてお客様のご要望に、より速やかに対応できる生産体制づくりに努めてまいります。また、システム製品の製造において、もう一つの主力生産拠点である、当社八尾工場と足並みを揃えた設備を導入することにより、BCPの強化も併せて行ってまいります。

着工時期：2022年7月

竣工時期：2023年6月(予定)



テラサキ伊万里 新棟完成予想図(外観)

どちらの生産拠点とも、併せて環境負荷低減、従業員の職場環境改善を計画しております。

当社は、来年創業100周年を迎えます。テラサキグループ全体の企業価値向上を見据え、将来に亘る安定した生産体制の構築とグループ内の資産の効率的な運用を行い、今後とも計画的な設備投資に取り組んでまいります。

● 会社の概要

商号	寺崎電気産業株式会社
本社	大阪市平野区加美東六丁目13番47号
創業	1923年(大正12年)10月1日
設立	1980年(昭和55年)4月1日
資本金	12億36百万円
従業員数	2,005名(連結) 552名(個別)
連結子会社	国内5社、海外8社

● 取締役及び執行役員

代表取締役 社長執行役員	寺崎 泰造
取締役 専務執行役員	熊澤 和信
取締役 常務執行役員	長瀬 順治
取締役 常務執行役員	西田 昌央
取締役 執行役員	岡田 俊二
取締役 執行役員	梅本 好弘
取締役 執行役員	小林 裕史
取締役 執行役員	吉川 和宏
取締役 常勤監査等委員	周藤 忠
取締役 監査等委員(社外)	千代田 邦夫
取締役 監査等委員(社外)	鷹野 俊司
執行役員	浜野 修次郎
執行役員	西野 政治
執行役員	中川 英生

● 株式の状況

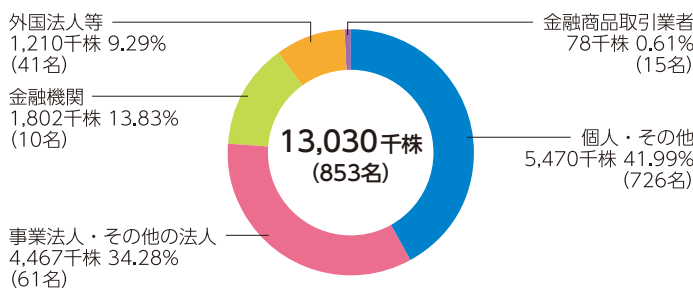
発行可能株式総数	52,000,000株
発行済株式の総数	13,030,000株
株主数	853名

● 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社寺崎	2,200	16.89
寺崎 泰造	1,133	8.70
テラサキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻 かおり	738	5.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	690	5.29
寺崎 雄造	677	5.19
株式会社芳山社	653	5.01
テラサキ従業員持株会	569	4.37
テラサキ共栄会	553	4.24
有限会社アーク	400	3.07

(注) 持株比率は、自己株式(1,021株)を控除して計算しております。

● 所有者別株式分布状況



※自己株式(1,021株)は、個人・その他に含めて記載しております。

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬開催

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等)のご請求につきましては、インターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

公告方法 電子公告により行います。

当社ウェブサイト <https://www.terasaki.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

ウェブサイトのご案内

寺崎電気産業

検索

<https://www.terasaki.co.jp/>

最新のトピックスをはじめ、業績報告や会社情報などをわかりやすくご案内しております。

